

事務事業評価シート(平成23年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
71214	国民健康保険課税徴収事務	住民税務課	諸税係	松井夕起子	中村京子
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2109
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	5001	一般管理費
	第五次総合計画前期基本計画の施策 体系における位置づけ	章 (コード選択)		7章	効果的・効率的な行政運営のまちづくり
		節 (コード選択)		1節	地方分権時代に対応した計画的な行政運営の推進
		項[基本施策] (コード選択)		2項	計画的な財政経営の推進
		目[主な施策] (コード選択)		1目	財政の健全化
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

国民健康保険加入者

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

国民健康保険への課税徴収を正確に行う。国保税率の見直しを行い国民健康保険特別会計の財政の健全化を図る

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 国保の資格の確認を行い、より正しく課税する。
- 税の徴収を行い、滞納を減少させる。
- 税収と給付の調和を図り、税率の見直しを行う
-

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	国民健康保険税納税通知書発送数		4,370	4,025	4,500	0.89	4,500
	説明	当初の課税及び異動による納税通知書		目標値設定の根拠 近年の経済状況から				
②	指標名	督促状発送通数		3,002	2,900	2,800	0.97	2,800
	説明	一年間の督促状発送件数		目標値設定の根拠 納期内納付の徹底を図り、督促を減少させる。				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	国民健康保険税徴収率(現年度分)		95	95	95	1.00	95
	説明	国民健康保険税(現年度分徴収率)		目標値設定の根拠 近年の景気の動向と、滞納対策の成果の予測から				
②	指標名	国民健康保険税徴収率(過年度分)		17	17	20	0.85	20
	説明	国民健康保険税(過年度分徴収率)		目標値設定の根拠 近年の景気の動向と、滞納対策の成果の予測から				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成22年度 決 算	平成23年度 見 込 み	平成24年度 見 込 み		
対前年比	%		95.4	100.8		
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		0	0	0		
B)一般財源(税金)		6,592	6,291	6,343		
①事業費	(千円)	0	0	0		
対前年比	%		#DIV/0!	#DIV/0!		
②人件費の概算	(千円)	6,592	6,291	6,343		
対前年比	%		95.4	100.8		
		年間人件費	年間人件費	年間人件費		
		課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数
		H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24
町職員(正規職員)		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.08 0.08 0.08	0.93 0.92 0.93	1.01 1.00 1.01
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート				
		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00

指標化



(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 窓口対応・税の問い合わせ等で把握している

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

転入者について課税の説明、任意継続保険との比較検討材料としての国保試算、外国人の課税保留の為の調査を実施した。滞納者対策として短期被保険者証の発行基準を引き上げることにより滞納者の減少を図る

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

1)国民健康保険税の引き上げを実施したことにより、滞納者対策として短期被保険者証の発行基準を引き上げることにより滞納者の減少を図る。
 2)課税客体の把握(加入者の調査)をしてただ漫然と課税することのないよう、把握し、執行停止、不納欠損を実施することにより徴収率を上げる。

24年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

本年度当初課税で、15.3%の税率引き上げ実施したが、見込額5,000万円に対し2,000万円の算出額となった。所得が予想以上に下落したためであるが今後も所得の増加は厳しいと見られる。医療費が増加し続ける中安易な一般会計からの繰入にも頼れず、適正な税額確保のため滞納対策も強化する

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択